

国際学術大会の お知らせ

AIoTキックオフ
ベッドサイドからレセプトまで
一気通貫のデータマネジメントに向けて

Conference themes

これまで日本の医療現場では懸命にICTの導入を進めてきました。それでも技術の変化はどんどん加速し、とくにAIやIoTの技術適用については、近隣諸国に水を空けられている面も多いように思います。台湾の先進的な医療施設、福祉施設と一緒に学びに行きませんか。

レセプトは医療・福祉施設には欠かせない経営基盤ですが、そのデータを発生源まで遡ればベッドサイドにいる患者/利用者にたどり着きます。IoTが浸透し始め、発生源で無数のデータが生ずるようになった現代では、それが最終的にレセプトデータとして蓄積されるまでのデータフローを一気通貫で考え、AIの力を借りて有効に活用する大局的な視点が欠かせません。

わが国でもこうした議論が急激に加速しつつあるものの、あまりの変化の大きさに未来像をイメージしにくいことも事実です。そこで今年の国際学術大会では、AIおよびIoT (AIoT) を活用する議論のきっかけを設けることを目的としました。とくにベッドサイドからレセプトまでデータが一気通貫するという世界観の中で、幅広い話題を共有できればと考えております。このため医療・歯科・調剤・介護の各レセプトにおける実務者もちろん、医療や福祉のデータ蓄積や活用に関わっている方にもぜひご参加いただければと存じます。

国境や職場や職種やを越えて、多くの方とともに、レセプトという共通言語を通じて近未来の医療や福祉の形を考えていけることを楽しみにしております。

Prof. Ryoma Seto

大会長 瀬戸僚馬 (東京医療保健大学教授)

2023

11/10 Fri. 11/12 Sun.

予定施設見学先

台湾の病院グループ
医科・歯科・調剤・介護の視察見学

講演プログラム

台湾の医療制度、AI (Chat GPTなど) を用いた院内システムの説明があります。
レセプトシステムにもAIが使われています。手術では手術ロボットを用いるなど、スマート施設の説明を受けることができます。そして、経営戦略についても台湾で幅広く医療・福祉施設を運営しているグループの事例を聞く機会があります。

発表の部として、一般演題、学生演題発表があります。

※一部の講演は、オンラインでも参加できます。

一部、台湾の文化視察も加えたスケジュールを作成準備中です。